

1. 環境マネジメント



環境方針

マルヤス工業環境方針

環境基本理念

当社は、「技術とチームワークで世界に笑顔を」を会社方針に掲げている。この方針を基に、人と地球にやさしい技術開発を通して社会に貢献し、より良い地球環境の保全に努め、次の世代に住みよい地球と豊かな社会を残すように、環境保全に向け、積極的に取り組む。

CO₂削減目標

2030年に2013年度比50%削減、2040年頃のカーボンニュートラルを目指す。

環境方針

当社は、環境基本理念に基づき、環境保全活動の推進を工場運営の最重点課題の一つとして、下記の事項に積極的に取り組む。

- 1 自動車部品のユニット・パイプ、チューブ、ブラケット製品及び産業用部品の制御盤用熱交換器などの生産活動における当社の状況を理解し、インプット／アウトプットを低減することにより、省エネルギー、省資源、資源循環、廃棄物の削減を行い、環境負荷を低減させる活動を積極的に推進することによって二酸化炭素の排出量を削減すると共に、省エネルギー、省資源を常に意識する人材を育てる。
- 2 環境目標を定め、その実現を図り、毎年一度環境方針と共に見直すことにより、環境マネジメントシステムの継続的改善を推進する。
- 3 環境関連法規制及び、地域との環境協定などを順守する。
- 4 定常作業時はもちろん、非定常作業時及び緊急時においても、地域社会にはご迷惑をお掛けしないように、大気や水の汚染防止及び環境保護を徹底し、自然共生社会の構築に貢献する。
- 5 お客様に安心、安全に当社製品を使っていただくために、製品に含有する化学物質の管理を徹底する。
- 6 従業員全員が環境基本理念を理解し、環境方針に沿った行動をとるよう、教育を行う。
- 7 環境に関する活動を通じて、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献する。
- 8 この環境基本理念と環境方針は、社外からの要請に応じ公表する。

制定：1999年11月12日 改定：2025年 4月 1日

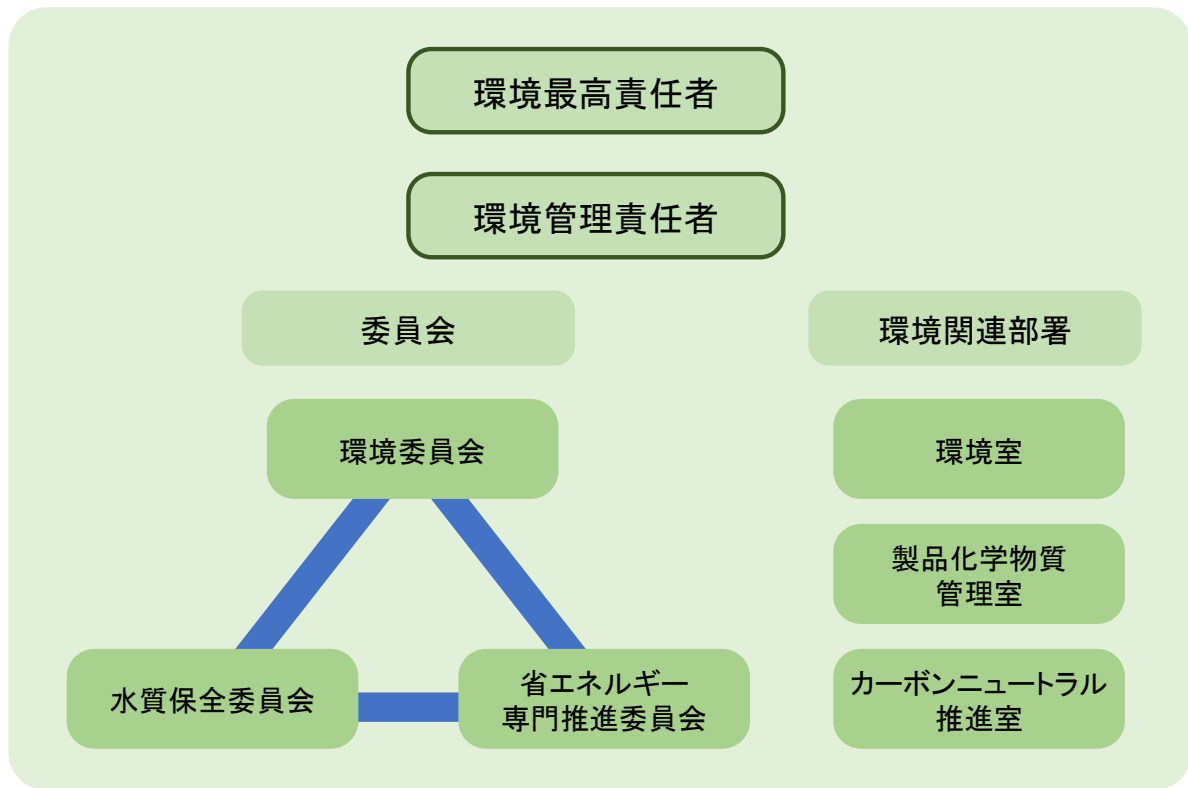
マルヤス工業株式会社 環境最高責任者



2. 環境マネジメント



環境管理体制



ISO 14001 登録証

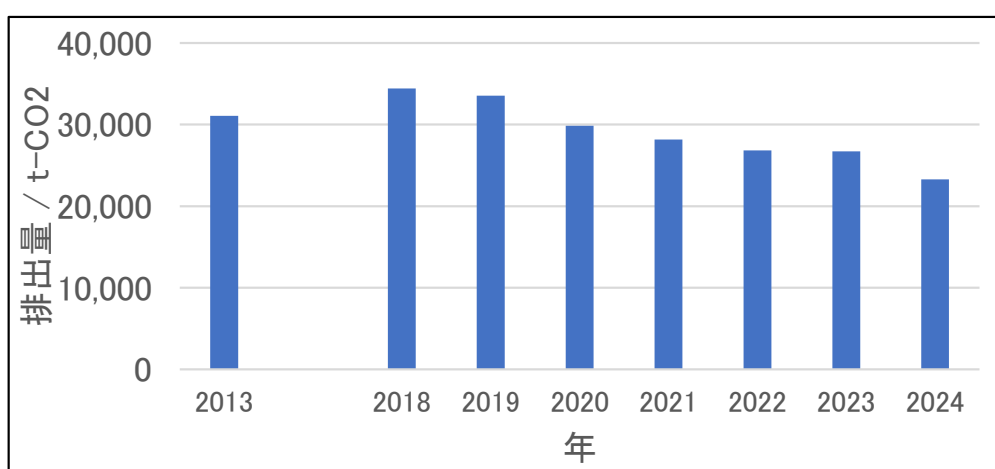


3.カーボンニュートラル

マルヤス工業は以前から「省エネルギー専門委員会」において、エネルギーの使用、CO₂排出量を管理し、削減活動を行ってきましたが、2021年に「カーボンニュートラル推進室」を開設し、2050年のカーボンニュートラル達成を見据えた推進体制の強化を図っています。開発設計から生産までグループ企業を含む全体プロジェクトとして、一気通貫で取り組む体制を整えるとともに、持続可能な活動を推進していくために必要な環境意識の高い企業風土や人づくりにも力を注ぎます。

CO₂排出量

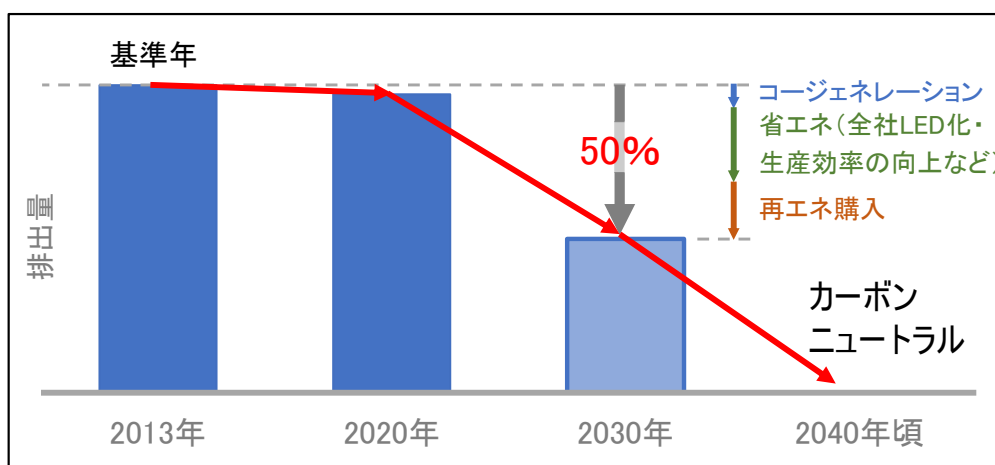
2013年のCO₂排出量を基準として、2020年度までに約1000t削減しました。



CO₂排出量

CO₂削減目標

2030年までに徹底した省エネ活動やコージェネレーションシステムの導入によって、2013年比50%の削減、コージェネレーションシステムのCO₂フリー化により2040年頃のカーボンニュートラル達成を目指します。



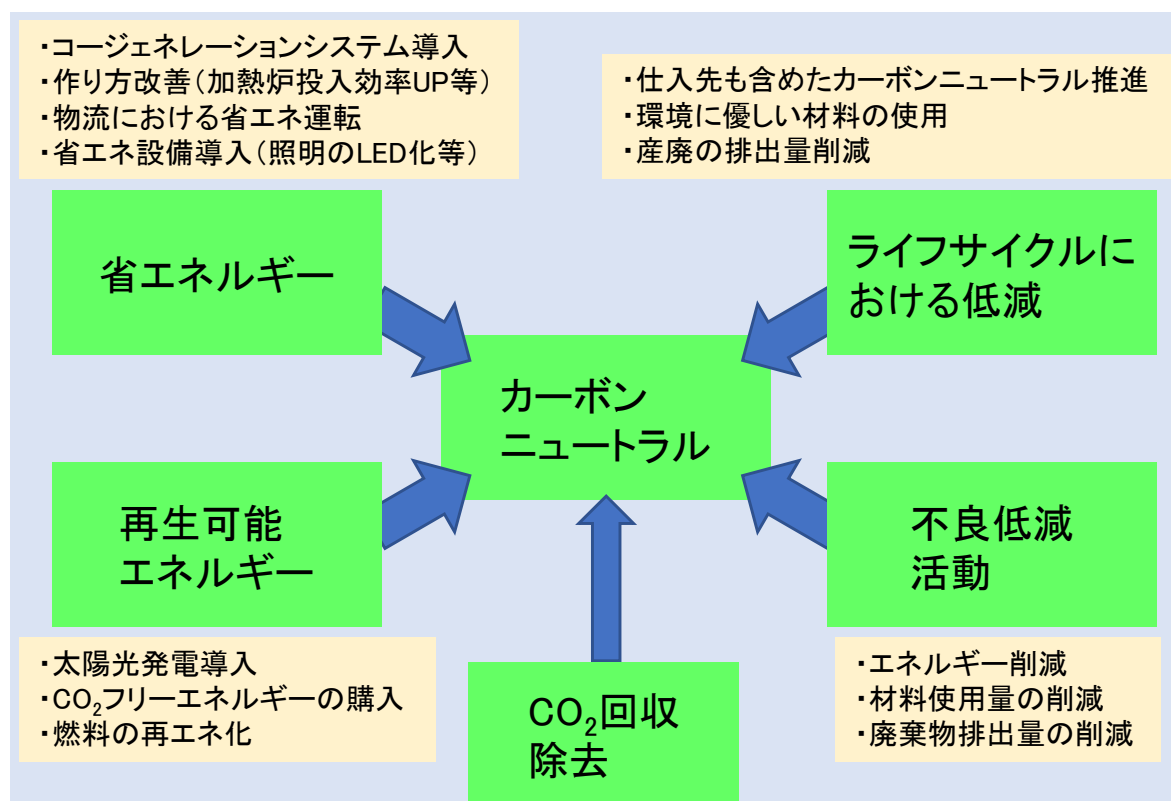
CO₂排出量



3.カーボンニュートラル

CO₂排出量ゼロを目指す5つのミッション

マルヤス工業は製品製造の工程や運搬工程を含めた企業活動全般でのCO₂削減に積極的に取り組めます。製造現場における省エネルギー化の推進はもちろん、グループ企業全体でのCO₂削減やグローバル生産体制の再構築、物流自体の削減など、カーボンニュートラルに向けた取り組みを進めて参ります。



カーボンニュートラル関連の報告

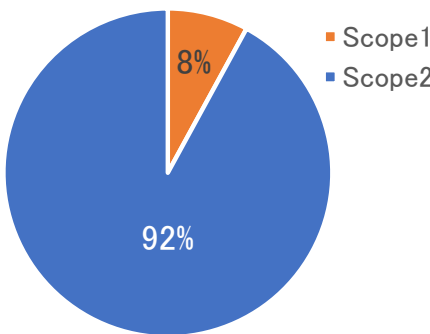
- ・ エネルギーの使用の合理化等に関する法律に基づく報告
定期報告書(特定事業者・第一種指定工場(岡崎工場・御津工場))
中長期計画書
- ・ 愛知県地球温暖化対策推進条例に基づく報告
地球温暖化対策実施状況提出書
- ・ 客先要求に基づく報告
CDPサプライチェーンプログラム(気候変動・水セキュリティ)



3. カーボンニュートラル

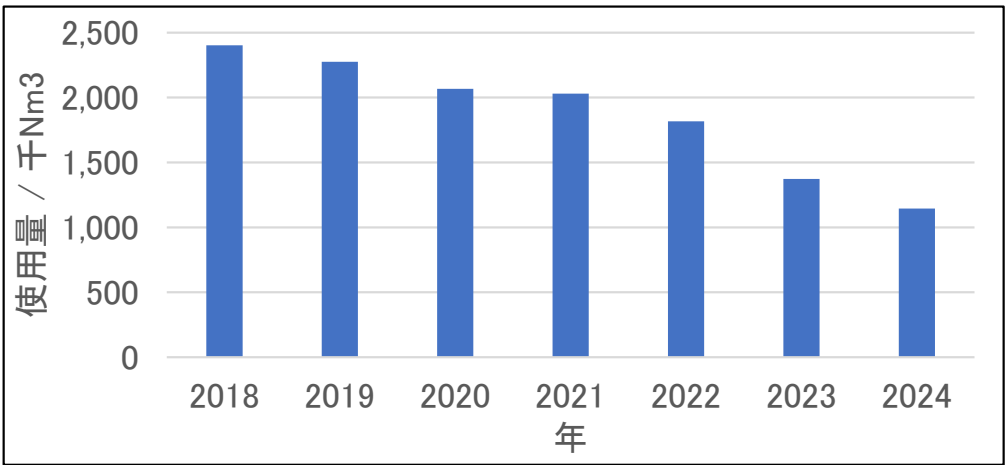
エネルギー使用量の削減

CO₂排出量のほとんどがエネルギー使用によるものです。その中でも使用量の多いガス（Scope1）と電力（Scope2）の削減に積極的に取り組んでいます。



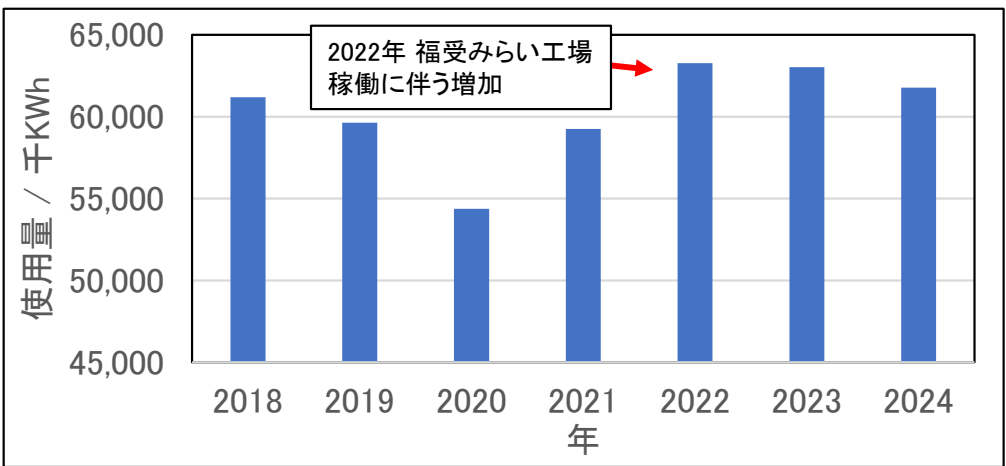
排出量内訳（2024年）

ガス使用量の削減（Scope1）



ガス使用量

電力使用量の削減（Scope2）



電力使用量

3. カーボンニュートラル

再生可能エネルギー

太陽光発電の導入

現在、岡崎工場および御津工場で太陽光発電を行っています。



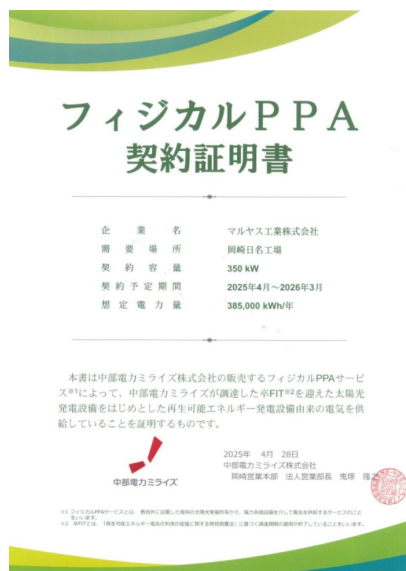
岡崎工場



御津工場

オフサイトPPA・CO₂フリー電力の導入

太陽光発電設備の設置可能な場所には限りがあるため、不足分はオフサイトPPA(フィジカル)やCO₂フリー電力などによってカーボンニュートラルを進めています。



日名工場



御津工場

4. 環境保全によるカーボンニュートラルへの貢献

資源循環

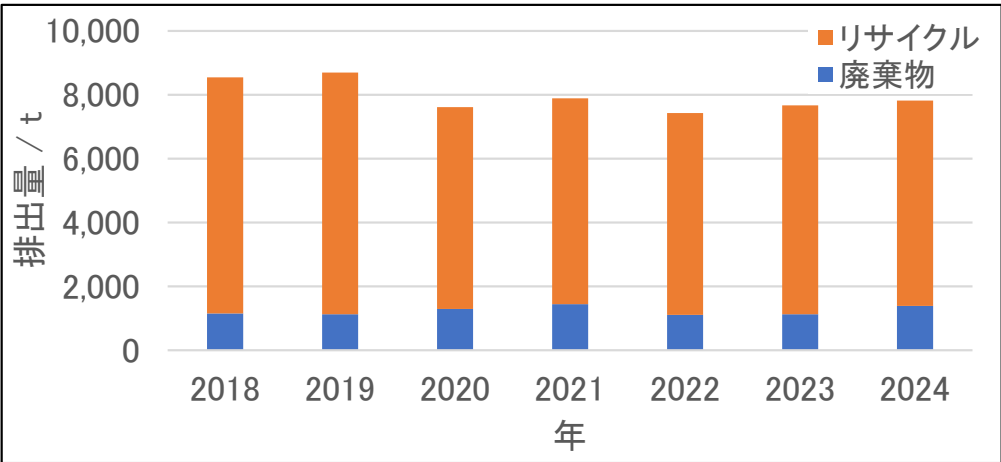
資源として利用できるものは分別回収し、廃棄物の削減に取り組んでいます。排出量の83%がリサイクルされています。廃棄物の処理に伴うCO₂排出量を削減します。

分別の徹底

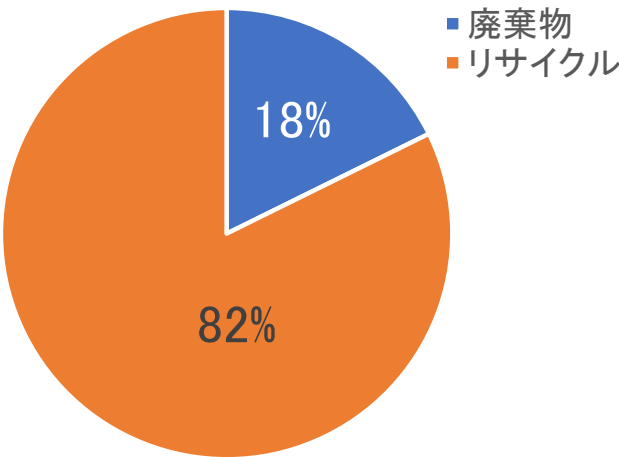


廃棄物置場の明示例

廃棄物排出量



廃棄物排出量



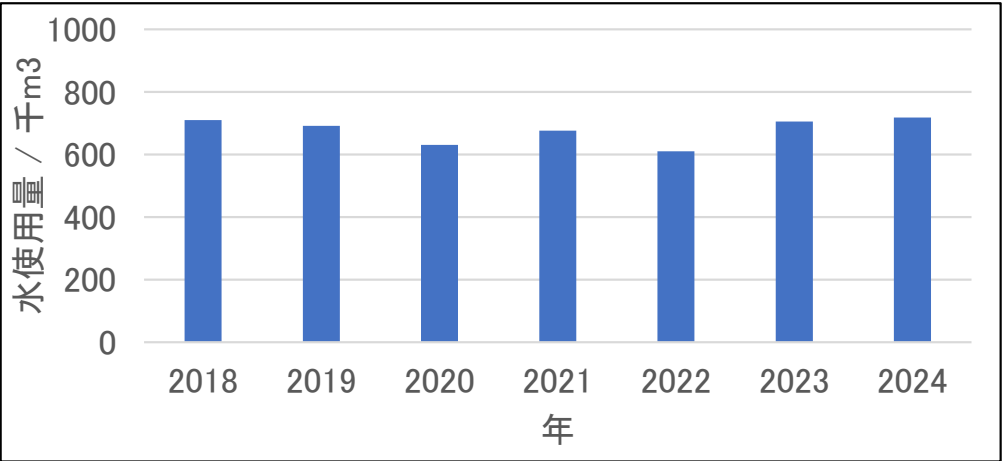
廃棄物・リサイクル比率（2024年）

4. 環境保全によるカーボンニュートラルへの貢献

水使用量の削減

貴重な資源である水の使用量の削減に取り組むとともに、工場から排出される水は適正に処理・管理して、国内トップレベルの厳しい水質基準を順守しています。また、排水中のZn濃度についてはオンライン分析装置を導入し、常時監視を行っています。

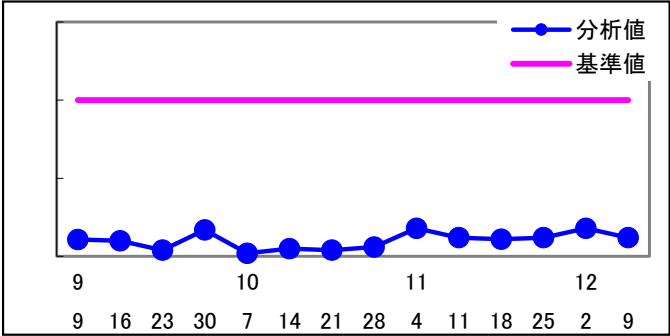
水使用量削減



排水分析

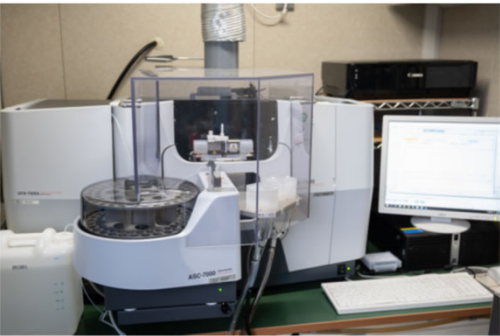


排水分析

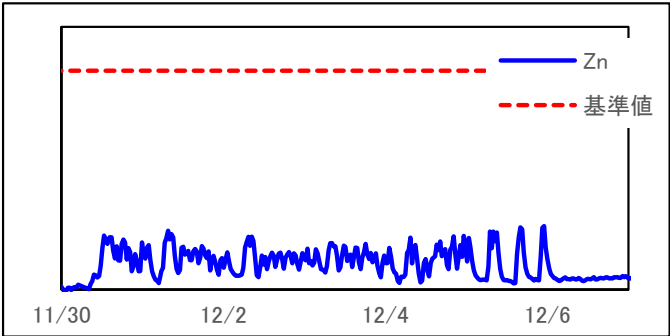


分析結果(例)

オンライン分析



オンライン分析装置



オンライン分析結果(例)

4. 環境保全によるカーボンニュートラルへの貢献

化学物質管理

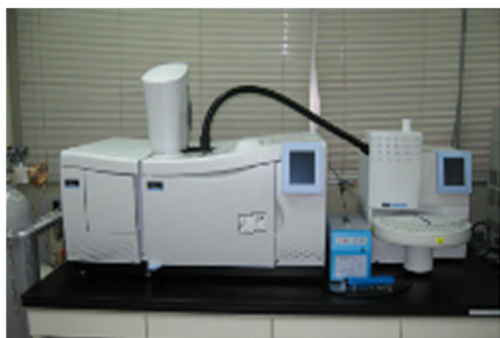
工場で使用される化学物質の管理を徹底するとともに、製品に使用される化学物質の管理を徹底し、化学物質による地球温暖化、環境汚染、生物への影響の最小化に努めています。

使用する化学物質の管理

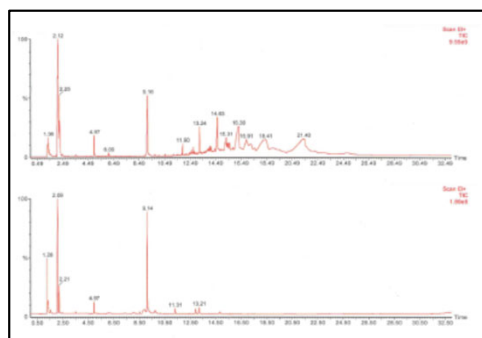


生産ラインにおけるSDSの掲示

製品に含有される化学物質の管理



GC/MS分析装置



製品含有化学物質分析(例)

4. 環境保全によるカーボンニュートラルへの貢献



生物多様性

生物多様性の保全のため工場排水の国内トップレベルの厳しい水質基準を順守し、下流の三河湾沿岸の漁業協同組合様や矢作川沿岸水質保全対策協議会様に定期的に水質保全状況を報告するとともに、アサリ等の海洋生物の保護に貢献しています。

水質保全委員会



会議の様子



河川水の採取



アサリ（イメージ）

4. 環境保全によるカーボンニュートラルへの貢献



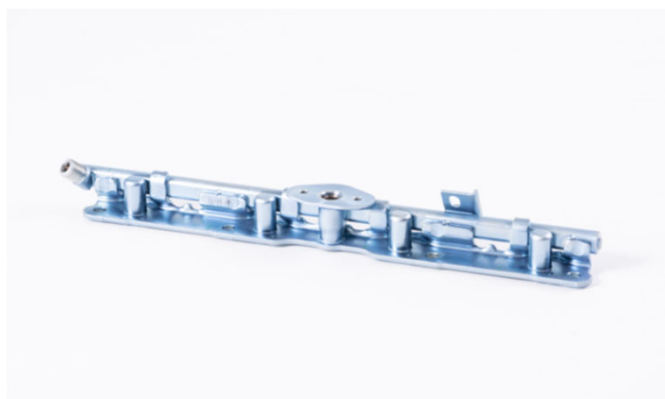
環境貢献製品



太陽熱給湯システム ReTerra



EGRクーラー



高圧デリバリ

4. 環境保全によるカーボンニュートラルへの貢献



当社のカーボンニュートラル、省エネルギーに対する活動が認められました。

表彰

令和7年度エネルギー管理優良事業者等 中部経済産業局長表彰 受賞

CDP 2025質問書

気候変動: 「B」スコア (2024年「C」スコア)

ウォーター: 「B」スコア (2024年「B-」スコア)

省エネ法定定期報告書に基づく事業者クラス分け評価

Sクラス(省エネ優良事業者)

コージェネ財団

コージェネ優良事例2024

水素社会実現に向けて

中部圏水素利用協議会にオブザーバー参加

4. 環境保全によるカーボンニュートラルへの貢献



COOL CHOICE

2018年から地球温暖化対策のための「COOL CHOICE(=賢い選択)」に賛同しています。



COOL CHOICE 賛同証明書

岡崎市地球温暖化防止隊

岡崎市の地球温暖化防止隊の賛助会員です。岡崎市地球温暖化防止隊への事業協力を通じてSDGsの5つの国際目標に関わる事業協力を行っています。



賛助会員証



SDGs事業協力認定書

4. 環境保全によるカーボンニュートラルへの貢献

啓蒙活動

社内環境教育

全社員及び関連会社に環境ニュースを発行し、カーボンニュートラルを始めとした環境に対する情報を発信しています。



仕入先教育

仕入先様にもライフサイクルを通したCO₂低減活動の実施、製品含有化学物質の管理を実施していただくため、教育を実施しています。

